

新たな「北陸圏広域地方計画」骨子

はじめに

1 計画の策定に当たって

2 計画期間

3 計画区域と隣接圏・府県との関係

◆圏域の定義：3県（富山，石川，福井）

◆隣接府県、隣接圏域との連携

第1章 北陸圏の現状と課題

1 北陸圏の現状

◆~~高い~~地域コミュニティの強さや経済的ゆとりで子育てしやすく女性の社会参加がしやすい優れた生活環境

（※変更理由：正確な表現に修正）

◆多様で個性ある都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる優れた居住環境

◆3,000m級の山岳から日本海に至る地形変化のなか、風水害や土砂災害、豪雪等の厳しさを有する反面、多様な生態系と健全な水環境系を育む豊かな自然環境

◆伝統産業から先端産業まで日本海側有数の特徴ある世界レベルの工業集積等、多様な産業の集積

◆三大都市圏や環日本海諸国を始めとするユーラシアに対するアクセス性の向上

◆自然、歴史、農林水産業、食文化、ものづくり等豊富な資源を活かした雪国ならではの生活の知恵が複合した独自で多様性のある文化

2 北陸圏の課題

（1）子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上

◆~~祖父母~~が孫の面倒をみることのできる環境、地域コミュニティの~~高さ強さ~~、生活環境の充実

（※変更理由：正確な表現に修正）

◆女性の社会参加がしやすく共働きとなることによる子育てにも有利な経済的なゆとりの更なる向上

◆教育等含めた子育てしやすい社会環境の維持・向上

（2）少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実

◆少子化の進展を食い止める、優れた子育て環境の維持・向上

◆若い世代の人口流出に歯止めをかける、優れた高等教育環境の向上

（3）厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上

◆厳しい自然環境への対応と、豊かな自然資産の活用

・降雪、地震・津波、風水害・土砂災害・高潮災害・山地災害等に対する備え

（※変更理由：骨子で抜けがあったため追加）

◆環境保全に対する人々の意識の向上

◆エネルギー開発等の更なる推進

◆~~快適で安心できる居住環境の維持・向上~~

（※変更理由：内容を鑑み（4）へ移動）

(4) 接続する都市群と半島や中山間地の共生

◆~~地方中核都市~~の接続や地域コミュニティがもたらす魅力ある暮らしの充実

(※変更理由：地方中核都市に限定されたものでないことから削除)

◆快適で安心できる居住環境の維持・向上

(※変更理由：(3)より移動)

◆半島や中山間地等での過疎化の進展への対応

◆将来的な社会基盤施設の維持

(5) 地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化

◆特徴ある世界レベルの産業の集積や人材、伝統産業によって時代の変化に対応

・研究開発体制、担い手育成の強化、中高年のスキル人材としての活用

◆新規就農者の確保と地域ブランド力の更なる強化

◆三大都市圏との地理的環境のより一層の活用

◆ポテンシャルの高まる国際物流環境の充実

(6) 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転などへの積極的な対応

◆太平洋側の広域的な災害リスク等を契機として高まる産業立地の優位性の活用

(7) 優れた観光資源を活かした、国内外誘致のための取組

◆多様な観光資源、食文化、農業・産業資源を活かした、多数の観光誘客の促進

◆交通ネットワークや設備環境充実による国内外観光客の更なる拡充

◆国際的に認められた北陸の魅力とその周知の向上

第2章 北陸圏の将来像

1 位置付け

「厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」

2 将来像

(1) ~~どこよりも輝き、幸せな暮らしが実現できる暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く~~ 新・北陸

(※変更理由：「他との比較ではなく、北陸の住民が自信とプライドを持って輝くということを示す表現がよい」との有識者懇談会での意見等を踏まえ修正)

(2) 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

(※変更理由：北陸圏の特徴である「三大都市圏に近接」を追加)

第3章 新しい将来像実現に向けた戦略目標・戦略

(※変更理由：「目標」と「戦略」を明確するため修正)

1 個性ある北陸圏の創生～更なる安全・安心、環境豊かな暮らしの充実、コンパクト+ネットワーク～

(1) 親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等だれもが暮らしやすい生活環境の充実

◆若者から高齢者みんなが住みやすく、2代、3代と安心して住み続けられる、地域コミュニティの維持・充実、定住化環境整備

◆ユニバーサル環境整備等、安全・安心な移動空間の形成

◆女性の就業・起業や社会参加等就業環境のさらなる充実

◆子育て支援の充実

(2) 本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実

◆~~UIJターンの促進~~

(※変更理由：より具体的な戦略内容を以下に追加)

◆魅力ある就業機会の創出

◆外国人材の活用

◆優れた人材定着に向けた高等教育環境の充実

~~(3)~~ (4) 風水害・~~や~~土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実

◆災害に強い国土形成

・地震・津波対策　・克雪対策　・風水害・土砂災害・山地災害対策　・侵食・高潮対策

◆減災に資する地域コミュニティを活かした体制の構築

◆災害リスクの評価・共有と防災・減災対策の重点化

◆災害時の応援体制と応急復旧体制の整備

◆防災先進社会の形成

◆原子力発電所の安全・安心の確保

~~(4)~~ (5) 豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

◆自然環境・水循環系の保全維持又は回復

(※変更理由：全国計画と整合を図るため修正)

◆豊かな日本海の保全と管理

◆環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国を始めとする東アジア等との国際協調・貢献

◆地球温暖化対策

◆資源循環と不法投棄対策

◆生活環境の改善

◆エネルギー技術開発の推進

~~(5)~~ (3) 多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致

◆都市拠点機能の集約等コンパクト化と交通ネットワークを活用して職住近接など暮らしやすさを充実

◆空き地・空き家対策等人口減少下における環境にも優しい市街地再編や中心商店街の活性化

◆優れた住環境の整備

◆北陸新幹線や交通ネットワークの整備と活用による個性ある都市と農山漁村が共生する接続都市圏の暮らしやすさを充実

◆セーフティネットのある安心とゆとり、高度情報通信環境の充実等による利便性や高等教育機会に恵まれた魅力のある暮らしやすい農山漁村の形成

◆中山間地等における生活サービス機能の集約化と利便性の高いネットワークの形成

◆暮らしやすさのPRによる住みたい、移住したくなる二地域居住、定住化、UIJターン

◆的確な優先順位等によるインフラの長寿命化等対策などインフラマネジメントの構築

2 競争力のある産業の育成 ～北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化～

(1) 集積する同業種・異業種や高等教育機関の接続都市間での対流と交通・ICT ネットワーク環境の

充実（ライフサイエンス、高機能新素材、中小企業ネット、スキル人材）

- ◆イノベーションの促進による活発な新産業の創出、産・学・研による加工製造の新技术の開発による高付加価値化
 - ◆高い価値観と融合した伝統産業のブランド化・グローバル化
 - ◆起業意欲にあふれる人材の育成・定着と誘致、ものづくりを継承する年齢・性別を問わない将来を視野に入れた様々な人材育成の確保
 - ◆活発なNPOの設立・活動等によるコミュニティビジネスの展開
 - ◆新興国の海外市場の成長を見据えた陸海空のインフラを生かした海外展開
- （2）太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化
- ◆きれいな水、~~安い~~安価な電力と税金助成制度、良質な地下水、優れた企業、ICに近い優位性のPRの推進

（※変更理由：正確性を期すため修正）

- ◆環日本海諸国等海外や国内他地域からの企業の製造拠点・本社・研究開発・研修機能等の誘致や人材育成、誘致による地域産業の活性化
 - ◆世界トップシェアを誇る業界等の国際展示会や世界各地から研究者等を招いた学术交流、国際コンベンション誘致・開催の推進、体制づくり
- （3）圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化
- ◆農林水産業に取り組む人材の確保・育成
 - ◆食料の安定供給と農山漁村の活性化
 - ◆バリューチェーンの構築による農林水産業と地域食品産業の活性化
 - ◆新たな木材需要の創出、木質バイオマスの利用促進等による林業の成長産業化
 - ◆食のブランド化と海外展開の推進
 - ◆食をテーマとした交流・観光の強化

3 ~~日本海国土軸の強化と太平洋側との連携強化~~日本海側の中枢圏域の形成 ～日本海沿岸地域との連携強化と太平洋側との連携強化～

（※変更理由：「国土軸」構想の趣旨を踏まえ修正）

- （1）市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化
- ◆道路・鉄道・港湾・空港と産業活動が連携した物流機能の強化
 - ◆港湾・空港・駅・IC等交通結節点の機能強化やアクセス機能の強化等による国内外に展開する信頼性の高い物流、旅客機能の形成・強化
 - ◆海域・空域の安全確保・保安対策
- （2）太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化
- ◆太平洋側からの本社・研究機能等企业誘致の促進
 - ◆太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化
 - ◆隣接圏域との連携による広域的防災支援と代替性を発揮する高規格幹線道路や鉄道等の交通機能の強化
 - ◆北陸新幹線、東海道新幹線、リニア中央新幹線が環状で機能する、広域ネットワークの強化
 - ◆~~北陸新幹線、小松空港、能登空港、富山空港等~~高速交通ネットワークの充実に伴う圏域内交流を支え

る二次交通の充実

(※変更理由：個別事業名は、広域連携プロジェクト等に記載)

◆エネルギー受入・供給拠点やネットワーク機能の強化

4 対流・交流人口の創出 ～北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出～

(1) 多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ツアーの充実

(※変更理由：ツアーに限定されたもので無いため修正)

◆自然・歴史・文化を活かした地域個性の構築と魅力ある観光地の形成

◆伝統的な産業、自然・歴史に培われた暮らしの継承・発信と受入環境の充実

(※変更理由：以下に別立て)

◆受入環境の充実

◆北陸新幹線の開業を契機とした国内外、隣接圏域との交流充実、広域観光充実

◆体験型滞在の充実

(2) 北陸新幹線の開業やリニア中央新幹線、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等国内外観光客誘客促進誘致強化と魅力の発信

(※変更理由：正式名称へ変更、以下に記述している戦略内容にあわせ修正)

◆交流に必要な交通基盤、社会基盤整備

◆北陸新幹線やリニア中央新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした国内外に向けた周遊型観光プロモーション

(※変更理由：正式名称へ変更)

◆国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進

第4章 広域連携プロジェクト

1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト

(1) 住環境や子育て環境にも恵まれた个性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

◆個性豊かでコンパクトな都市圏の形成

◆子育てを支援するワークライフバランス豊かな地域づくり

◆教育サービスの充実と安心して子供を育てることのできるまちづくり

◆医療・福祉サービスの充実

(2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成

◆都市間の連携機能の強化

◆二地域居住、定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信

◆若年層の定住、U I J ターンの受入促進

(3) 個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成

◆職住に便利な公共交通を核とした地域づくり

◆北陸新幹線開業を契機とした都市圏ネットワークの充実

(※変更理由：正確な表現に修正)

(4) インフラ投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理

2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト

(1) 農山漁村の活性化

- ◆福祉サービス充実等集落機能の再生・維持・強化
- ◆里地里山や里海の保全と林業の再生
- ◆野生鳥獣の被害防止対策の強化

(2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

- ◆都市と農山漁村との交流拡大
- ◆未利用資源の利活用
- ◆農林水産業への新規就業の促進

3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト

(1) 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

- ◆冬季の降積雪や風浪等への対策強化
- ◆風水害・土砂災害・~~山地災害~~等への対策強化

(※変更理由：正確性を期すため)

- ◆日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化
- ◆災害リスクの評価・共有に基づく防災・減災対策の強化
- ◆防災先進社会に貢献する土砂災害や豪雪等対策の防災技術の高度化

(2) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

4 ~~立山・黒部や白山等山岳から日本海に至る北陸の~~多彩な自然環境保全プロジェクト

(※変更理由：分かりやすく修正)

(1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

- ◆山岳地域の自然環境の保全
- ◆水系一貫における~~水循環の維持又は回復系の構築~~

(※変更理由：全国計画と整合を図るため修正)

- ◆自然環境保全に関する意識啓発
- (2) 日本海沿岸地域の環境保全
- ◆海岸景観の保全・再生
- ◆野生生物の生態系ネットワークの保全
- ◆大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組強化

5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

- ◆最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出
- ◆環境にやさしい暮らしの普及・定着

6 東アジアに展開する日本海中枢~~拠点圏域~~形成プロジェクト

(※変更理由：正確性を期すため)

(1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

- ◆医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成
- ◆北陸圏の産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携等による中小企業の活性

化

(2) 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

- ◆広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化
- ◆国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致
- ◆荷主に信頼される物流ネットワークの構築

7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト

(1) 食料供給力の強化

- ◆良好な営農条件の確保
- ◆農林水産業の担い手の育成

(2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

- ◆「北陸ブランド」の構築
- ◆国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充
- ◆地産地消の推進

8 ~~太平洋側の復興復興に強靱な国土づくりに~~貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

(※変更理由：太平洋側に限定するプロジェクトでないことから修正。)

~~(1) 中部圏との連携~~

(※変更理由：網羅的に記載することとし、圏域毎では記載しないこととする)

- ◆防災ネットワークの構築
- ◆リダンダンシーの確保

~~(2) 首都圏との連携~~

~~(3) 近畿圏との連携~~

9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

(1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

- ◆地域資源を活かした観光拠点の形成
- ◆旅行者が何度も訪れたいくなる新たな観光形態の創出
- ◆国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり

(2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

- ◆多様な広域観光ルートの充実及びこれを支える広域交通基盤の強化
- ◆広域連携による認知度向上及び誘客プロモーションの強化
- ◆観光交流活発化のための北陸の民間・行政等の連携推進体制の強化

第5章 隣接圏域との交流・連携

1 北陸圏・中部圏連携プロジェクト

(1) 北陸圏・中部圏連携の将来像

- ◆両圏域の連携が生み出す「世界に開かれた中枢圏域」
- ◆両圏域の連携が生み出す「魅力あふれる圏域」

(2) 将来像実現のための基本的施策の方向性

- ◆広域観光への取組

- ◆国際・広域物流体系の構築、国内外からの投資誘致への取組
- ◆環境及び国土の保全への取組
- ◆地震等、広域防災への取組

(※変更理由：今後、懸念される巨大地震の発生を踏まえ追加)

(3) 連携プロジェクト

- ◆まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト
 - ◆広域物流ネットワーク（日本海～太平洋）構築プロジェクト
 - ◆環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト
 - ◆隣接圏域との産学官連携による新産業拠点形成プロジェクト
 - ◆広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト
- (※変更理由：今後、懸念される巨大地震の発生を踏まえ追加)

2 ~~日本海国土軸形成~~日本海沿岸地域の連携推進プロジェクト

(※変更理由：「国土軸」構想の趣旨を踏まえ修正)

- ◆日本海国土軸の経済発展を支える広域交通網の充実
- ◆日本海沿岸地域への企業誘致等の促進
- ◆ユーラシアへのゲートウェイ機能の強化
- ◆エネルギー受入・供給拠点やネットワーク機能の強化

3 広域防災・観光に向けた隣接~~圏域~~との連携プロジェクト

(※変更理由：正確性を期すため)

- ◆広域観光ルートの構築
- ◆広域連携による降積雪対策の強化

第6章 計画の実現に向けて

- 1 多様な主体の参加と協働
 - 2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成
 - 3 広域的な発想の下での地域連携の促進
 - 4 投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理
- (※変更理由：現行計画を踏襲し追加)

5-4 他の計画・施策との連携

6-5 計画のモニタリング等